

## レジデントカリキュラム      \*\*外科\*\*

### 概 要

当センター外科では、肝・胆・膵の癌をはじめ胃癌、大腸癌、食道癌など消化器疾患を中心に甲状腺や乳腺疾患、ヘルニア、痔疾患なども含めた広い領域の外科治療を行っている。

平成15年6月に作成された日本外科学会より示された外科専門医修練カリキュラムに準じ、下記項目について習得目標とする。

- 1) 外科診療に必要な基礎知識の習熟
- 2) 外科診療に必要な検査・処置・麻酔手技の習熟
- 3) 一定レベルの手術を適切に実施できる能力の習得
- 4) 医の倫理に基づいた適切な態度の習得
- 5) 外科学に進歩にあわせた生涯学習を行う方略の習得

### 研修目標

- 1) 外科診療に必要な基礎知識の習熟
  1. 局所解剖、病理学、腫瘍学、病態生理、輸液・輸血、血液凝固と線溶現象
  2. 栄養・代謝学、外科的感染症、免疫学、創傷治癒、周術期管理、救命・救急治療
- 2) 外科診療に必要な検査・処置・麻酔手技の習熟
  1. 以下の検査手技  
超音波検査の実施と病態の把握  
単純エックス線、マンモグラフィー、CT, MRI の読影  
上部・下部消化管造影、血管造影の適応決定と読影  
上部・下部内視鏡検査の必要性の判断
  2. 周術期管理
  3. 麻酔手技
  4. 外傷の診断・治療
  5. その他
- 3) 一定レベルの手術を適切に実施できる能力の習得
  1. 消化管および腹部内臓の外科（100例）  
開腹・閉腹、消化管吻合、胃切除、虫垂切除、結腸部分切除、人工肛門増設、痔核根治術、胆嚢摘除、鼠径ヘルニア修復など
  2. 乳腺（10例）  
乳房切除
  3. 頸部・体表・内分泌外科（10例）  
腫瘍摘出、リンパ節摘出、甲状腺部分切除
  4. 鏡視下手術（50例）  
腹腔鏡下胆嚢摘出術  
\* 5年次以降に関しては、研修医師の執刀の指導のための助手を行えるようにする。  
\* 指導医もとに難易度の高い手術の助手を務める。
- 4) 医の倫理に基づいた適切な態度の習得

- 1 . 外科診療における適切なインフォームドコンセントの習得
  - 2 . ターミナルケア
  - 3 . コメディカルスタッフとの協力・協調
- 5 ) 外科学に進歩にあわせた生涯学習を行う方略の習得
    - 1 . 学術集会への参加、発表
    - 2 . 症例報告等の執筆

## 研修方法

- 1 ) 指導体制
  - 1 . レジデントは指導医とペア（もしくはグループ）で入院患者を受け持つ。
  - 2 . 3年目のレジデントは、チーフレジデントとして1・2年目のレジデントの指導を行い、スタッフの補佐的役割を担う。
- 2 ) 患者の受け持ち
  - 1 . 常時約 10 人の患者を受け持つ。
- 3 ) 検査・診療業務
  - 1 . 超音波検査（腹部、乳腺、甲状腺など）
  - 2 . 内視鏡検査（上部・下部消化管）
  - 3 . 消化管造影
- 4 ) カンファレンス
 

月曜日	AM 8:00	連絡および発表練習
火曜日	AM 8:00	部長回診
木曜日	AM 8:00	術前検討会
金曜日	AM 8:00	術後検討会
† 第四木曜日	PM6:00	三科合同カンファレンス
†	PM6:30	キャンサーボード
†		

## † 評 価

- 1 ) 指導責任者は、目標の達成状況を確認する。
- 2 ) 3年終了時に、指導責任者が評価し、研修委員会において終了を判定する。